

## 平成 28 年度 小郡市子ども・子育て会議 会議要約

日時	平成 28 年 8 月 31 日（水）10：00～11：30
場所	小郡市人権教育啓発センター
出席者	<p>&lt;委員&gt;</p> <p>秋吉委員、飯田委員、井上委員、大石委員、梶原委員、組坂委員、黒岩委員、四ヶ所委員、立野委員、松葉委員、吉塚委員</p> <p>&lt;事務局職員&gt;</p> <p>井手保健福祉部長、横溝子育て支援課長、松枝子育て支援係長、成富子育て支援係員</p>
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度 小郡市子ども・子育て会議次第</li> <li>・小郡市子ども・子育て会議委員名簿</li> <li>・小郡市子ども・子育て支援事業計画（第 1 期）第 5 章（資料 1）</li> <li>・小郡市子ども・子育て支援事業計画（第 1 期）第 6 章（資料 2）</li> <li>・小郡子育て応援ハンドマップ（冊子）</li> <li>・小郡子育て支援ガイド（冊子）</li> <li>・すくすくジャパン（冊子）</li> <li>・障害のある子どもへの早期からの一貫した支援の充実が重要です！（チラシ）</li> <li>・小郡市から虐待をなくしましょう！（チラシ）</li> </ul>
<b>会議内容</b>	
1 開会	
2 保健福祉部長挨拶	
3 自己紹介	
4 議題	
<p>（1）「小郡市子ども・子育て支援事業計画の進行管理に伴う調査結果について」</p> <p>①第 5 章「施策の具体的な取り組みについて」（資料 1）</p> <p>事務局からの資料 1 の説明後、意見を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども医療証の発行について、申請していない世帯について医療証はもらえないのか？ →申請していない世帯には、医療証は届かない。 理由は、保険証の内容は様々あり、現在の保険証の確認のために申請が必要となるため。</li> <li>・一律に医療証の発行をしていただけないのか。例えば国民健康保険対象者などはわかるのではないのか。 →やはり保険証の確認を必要とします。</li> <li>・子ども医療について詳細説明を求める。 →保険証の確認の必要性について、ごくまれに保険証がない方がおられる。本事業は、根本となる保険証の利用により 7 割を助成、残り 3 割が子ども医療での助成となるため、保険証の確認が必要となる。県の補助事業でもあり、県の指導もある。</li> </ul>	

- ・子ども医療証の発行について、申請書が届き文章を理解することが困難な家庭への支援について。

→実際に未申請の方も想定されるため、皆さんが助成を受けられるように対応を考える。

事務局からの資料2の説明後、意見を求める。

- ・量の見込み及び実績の表の幼稚園の提供体制について、市外の幼稚園に通園している園児数についてはどこに上がっているか。

→市外通園者は数字にない。しかし、市外から市内の園に通う園児数は入っている。

- ・公立幼稚園の今後の方向性について幼児施設審議会で審議されたあと、一園に統合されるときいたが、どのようになるのか、教えてほしい。

→公立幼稚園の児童数が減少しており、5年前と比べると園の充足率は低下している。そのため教務課で検討した結果、平成31年度より公立2園を小郡幼稚園に統合する。

平成31年度は三国幼稚園の受け入れはなし。三国幼稚園周辺に在住の方は小郡幼稚園での保育となるため、送迎バスを運行する予定。あくまで、三国幼稚園からの移動を目的としたもので、自宅前に送迎する巡回バスではない。3年間の運行と期限を設定。平成31年度からは小郡幼稚園において3歳児からの保育及び預かり保育実施予定。

- ・私立幼稚園との関係性及び保育が変わるのではないかと心配。(ご意見)
- ・市内の保護者は、幼稚園入園について悩むことも多いため、選択肢が増えるため今回の件についても早めに情報提供をしたらよいのでは。

- ・決定をしたのはいつか。

→今年の夏に決定した事項のため、現在は保護者及び地域への説明が終了したところである。広報10月号に掲載予定もあり今後情報提供していく。

- ・特定園待ちの待機児童も含めた人数が、現在の確保方策で解消できると思うか。

→各保育園でも定員以上の受け入れをいただいていることも含めて、現在の確保方策で賄えるとは思っていない。

- ・保育料について個人的な意見だが、昨年度は育児休暇取得のため保育料は減額されていたが、今年度は育児休暇取得も終了し保育料が増額となった。保育料の上げ幅が大きく、負担が一度に増えたが、小郡市保育料徴収区分について他の自治体に比べてどうか。

軽減措置が他市と比べてどうか。

→平成27年度に小郡市保育料徴収区分表を多段階に細分化し、上げ幅の見直しを行った。

国が定める保育料額を基本とし、保育料の設定をしている。軽減率は新制度前と同じ。

ただし、他の自治体においては新制度と同時に更なる保育料軽減を行っているところもある。

- ・小郡市徴収区分表が一律同じ上げ幅になることを、要望する。(意見)

- ・ファミリーサポートセンターの利用内容について

→ファミリーサポートセンター事業所より

事前登録制による計画的利用が多い。保護者の仕事の都合によるもの。ピアノの教室の

間の預かり。学校への送迎

## 5 その他

- ・ 保育所保護者の外国籍の方について、保護者会におけるコミュニケーションがとれないという課題がある。小学校での取り組み事例を教えてください。

→小学校長代表より

ひらがな表示により、意思の疎通をはかる。生活に利用する言葉については、週に1度、外国語支援のための職員を教務課より学校に派遣していただいている。

→企画課における日本語教室などにおいて、託児を行うなど子育て家庭への支援の充実について検討してはどうかと提案している。

- ・ 保育所・幼稚園・小学校・中学校連携して支援するため、まずは実態把握が必要ではないか。(意見)

- ・ 異国籍の保護者の方からご依頼の電話があるが対応の方法に悩む。対面だとジェスチャーで会話ができるが。外国籍の方との会話等について支援する機関があるのであれば、学校等だけでなく子育てに関係する機関にも情報提供いただきたい。(意見)

配布資料について説明

## 6 閉会のあいさつ